

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和08年01月20日

計画の名称	岡山県における港湾利用者にとって安全で使いやすい港づくり計画（防災安全）（重点）														
計画の期間	令和08年度 ～ 令和12年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	岡山県														
計画の目標	土砂が堆積し、船舶の航行に支障が生じている水域施設の機能性・安全性の向上により、フェリー等の国内定期航路における物資・旅客輸送強化及び、耐震強化岸壁から緊急物資の確実な輸送強化を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,055	A	2,055	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8当初	R10末	R12末
1	フェリー等の国内定期航路に関連する水域施設の施設改良率 [0%(R8年度)→100%(R12年度)]			
	フェリー等の国内定期航路に関連する水域施設について、事業内容数量の実施完了 対象施設のうち、埋没対策が図られた施設／埋没対策が必要な施設	0%	50%	100%
2	耐震強化岸壁に繋がる水域施設の施設改良率 [0%(R8年度)→100%(R12年度)]			
	耐震強化岸壁に繋がる水域施設について、事業内容数量の実施完了 対象施設のうち、埋没対策が図られた施設／埋没対策が必要な施設	0%	40%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-001	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	高島泊地(-5.5)浚渫	浚渫V=18,000m3	岡山港高島地区	■					114		策定済	
	A02-002	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	高島泊地(-4.0)浚渫	浚渫V=20,000m3	岡山港高島地区					■	■	198		策定済
	A02-003	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	福島航路①(-5.5)浚渫	浚渫V=44,000m3	岡山港福島地区	■	■					447		策定済
	A02-004	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	福島航路②(-5.5)浚渫	浚渫V=30,000m3	岡山港福島地区				■	■	■	300		策定済
	A02-005	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	福島1号泊地(-5.5)浚渫	浚渫V=25,000m3	岡山港福島地区			■	■			249		策定済
	A02-006	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	福島2号泊地(-6.0)浚渫	浚渫V=25,000m3	岡山港福島地区					■	■	249		策定済
	A02-007	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	岡山航路(-7.5)浚渫	浚渫V=50,000m3	岡山港幸島地区				■	■	■	498		策定済
												小計						2,055		
											合計						2,055			

事前評価チェックシート

計画の名称： 岡山県における港湾利用者にとって安全で使いやすい港づくり計画（防災安全）（重点）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等 1) 計画の目標が上位計画と整合している	○
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等 2) 港湾計画と整合している	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 1) 事業内容は計画の目標を達成する上で適切なものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 2) 十分な事業効果が得られることが確認されている	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 3) 事業効果は数値・指標等を用いて客観的に示されている	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境 1) 関係機関との調整を行い理解が得られている	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運 1) 利用者や地元関連企業・地元自治体等からの要請がある	○